

株式会社キャンバス

《証券コード:4575》

2019年6月期第2四半期
決算説明会

2019年2月20日

Part 1
2019年6月期第2四半期
決算報告

■ 事業収益 61百万円

✓ Stemline社とのCBS9106提携に基づく収益

- 技術アドバイザリーフィー 55百万円(前年2Qと同額)
- ライセンス契約拡大延長に伴う契約修正一時金 5万米ドル

■ 営業損失 235百万円

- 開発費: 前年2Q 125百万円 → 当2Q 103百万円
 - 用量漸増相開始費用+用量漸増相費用 → 用量漸増相終了+拡大相開始準備費用
- 基礎研究費・販売費及び一般管理費: 微減
- 拡大相試験は概ね予定通り進行 = 通期見通しについては2018年12月修正から変更なし

■ 特別利益 80百万円

- 株式会社ヤクルト本社から受領した解決金 (2018年9月)

2019年6月期2Q 決算報告

貸借対照表概要

(単位:千円)

		2018/6期末	2019/6期2Q	増減(参考値)
資産の部	流動資産	546,469	655,719	109,250
	現金及び預金	466,277	590,047	123,770
	売掛金	56,054	7,057	△48,997
	固定資産	31,819	31,738	△81
	有形固定資産	—	—	—
資産合計		578,289	757,393	179,104
負債の部	流動負債	156,352	178,466	22,114
	固定負債	—	114,120	114,120
	負債合計	156,352	292,586	136,234
純資産の部	株主資本	346,468	284,019	△62,449
	資本金	4,171,807	4,219,357	47,550
	資本剰余金	4,158,657	4,206,207	47,550
	利益剰余金	△7,983,780	△8,141,329	△157,549
	自己株式	△215	△215	—
	新株予約権	75,468	79,114	3,646
純資産合計		421,936	363,133	△58,803

新株発行による現金増

Stemline社 技術アドバイザーフィー入金

有形固定資産減損済

転換社債未転換分

転換社債転換に伴う
新株発行

2019年6月期2Q 決算報告

損益計算書概要

(単位:千円)

	2018/6期2Q	2019/6期2Q	増減(参考値)
事業収益	55,452	61,002	5,550
事業費用	324,224	296,937	Δ27,287
研究開発費	207,088	190,462	Δ16,626
販売費及び一般管理費	117,136	106,475	Δ10,661
営業利益	Δ268,772	Δ235,935	32,837
営業外損益	1,750	Δ988	Δ2,738
経常利益	Δ270,523	Δ236,923	33,600
特別損益	16,254	80,000	63,746
税引前当期純利益	Δ254,269	Δ156,923	97,346
当期純利益	Δ254,894	Δ157,548	97,346

臨床試験費用微減

支払利息・為替差損

ヤクルト本社解決金

2019年6月期2Q 決算報告

キャッシュフロー計算書概要

(単位:千円)

	2019/6期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	210,080
現金及び同等物に係る換算差額	282
現金及び同等物の増減額	123,770
現金及び同等物の期首残高	466,277
現金及び同等物の四半期末残高	590,047

転換社債と新株予約権の発行、
新株発行による収入

2019年6月期 業績見通し

2018年12月18日修正

(単位:百万円)

	2018年6月期 通期実績	2019年6月期 2Q実績	2019年6月期 通期見通し
事業収益	110	61	115
事業費用	649	296	726
研究開発費	423	190	523
販売費及び一般管理費	225	106	203
営業利益	△539	△235	△611
経常利益	△547	△236	△609
当期純利益	△532	△157	△530

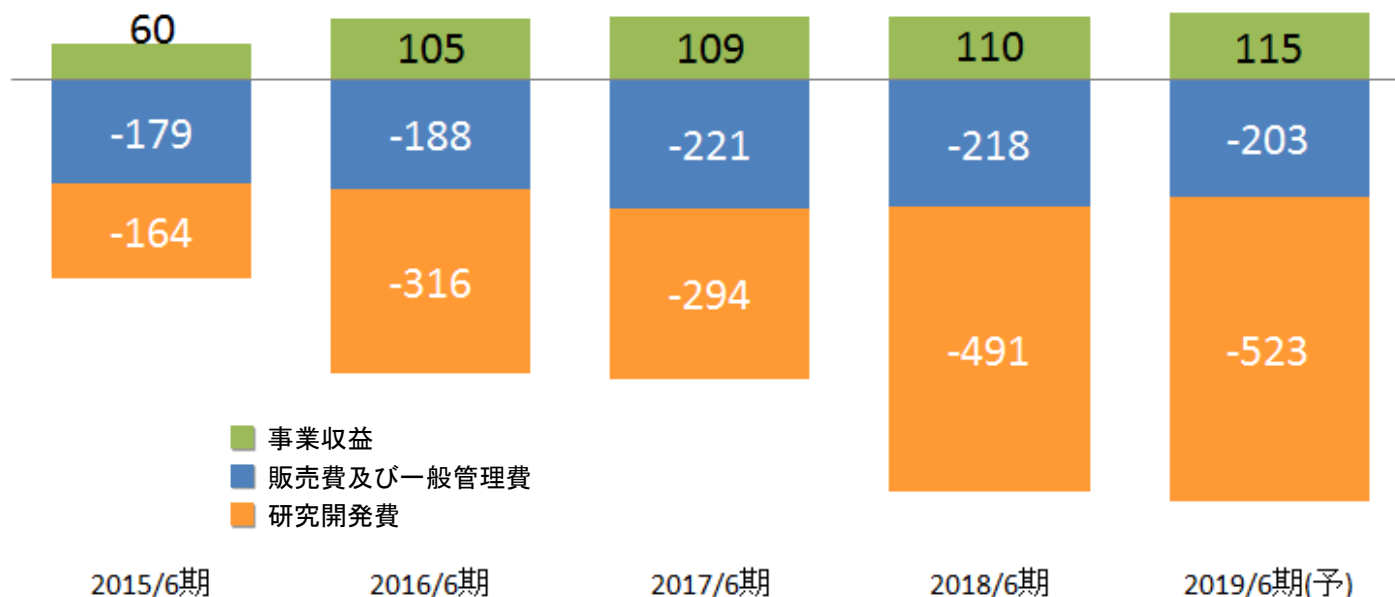
2019年6月期 業績見通し

■ 事業収益：115百万円

- ✓ Stemline社からの技術アドバイザリーフィー継続と契約修正一時金(受領済み)
- ✓ 新規提携獲得による上積みを図る

■ 事業費用：726百万円

- ✓ 研究開発費 523百万円 (基礎研究費等171百万円+臨床開発費352百万円)
- ✓ 販売費及び一般管理費 203百万円



Part 2
2019年6月期第2四半期
事業報告

CBS9106 提携交渉

- Stemlineライセンス契約拡大延長（2018年8月14日）
 - ✓ 従来除外していた日中台韓を権利供与地域に加え全世界に
 - ✓ 技術アドバイザリーフィーの期間を延長(2021年6月まで)
 - ✓ 契約修正一時金(5万米ドル)の受領
- ヤクルト本社からの解決金受領（2018年9月25日）
 - ✓ CBS9106日中台韓地域独占ライセンス契約の不調に伴う解決金(80百万円)

CBP501 用途特許

- CBP501の投与対象を白血球数で絞り込む・日本(2018年9月3日)
- CBP501と免疫チェックポイント阻害剤等の併用・米国(2018年9月27日)

CBP501 臨床開発

- 用量漸増相中間とりまとめ (2018年11月15日)
 - ✓ 比較的多数の既治療歴を有する患者を対象とした臨床第1相試験としては良好な内容
- フェーズ1b拡大相の対象癌腫決定 (2018年10月11日)
 - ✓ 膵臓癌・直腸大腸癌 各10症例予定
- 拡大相 FPI (2019年1月10日)

基礎研究・その他

- CBS9106 (SL-801) ESMO2018で発表 (2018年10月16日・23日)
- 東京大学との共同研究契約拡大延長 (2019年1月11日)
- AACR年次総会で当社基礎研究成果の発表決定 (2019年1月28日)
 - ✓ 頻度の多い体細胞変異2種類の組合せが化学療法や免疫系抗癌剤の臨床効果を反映

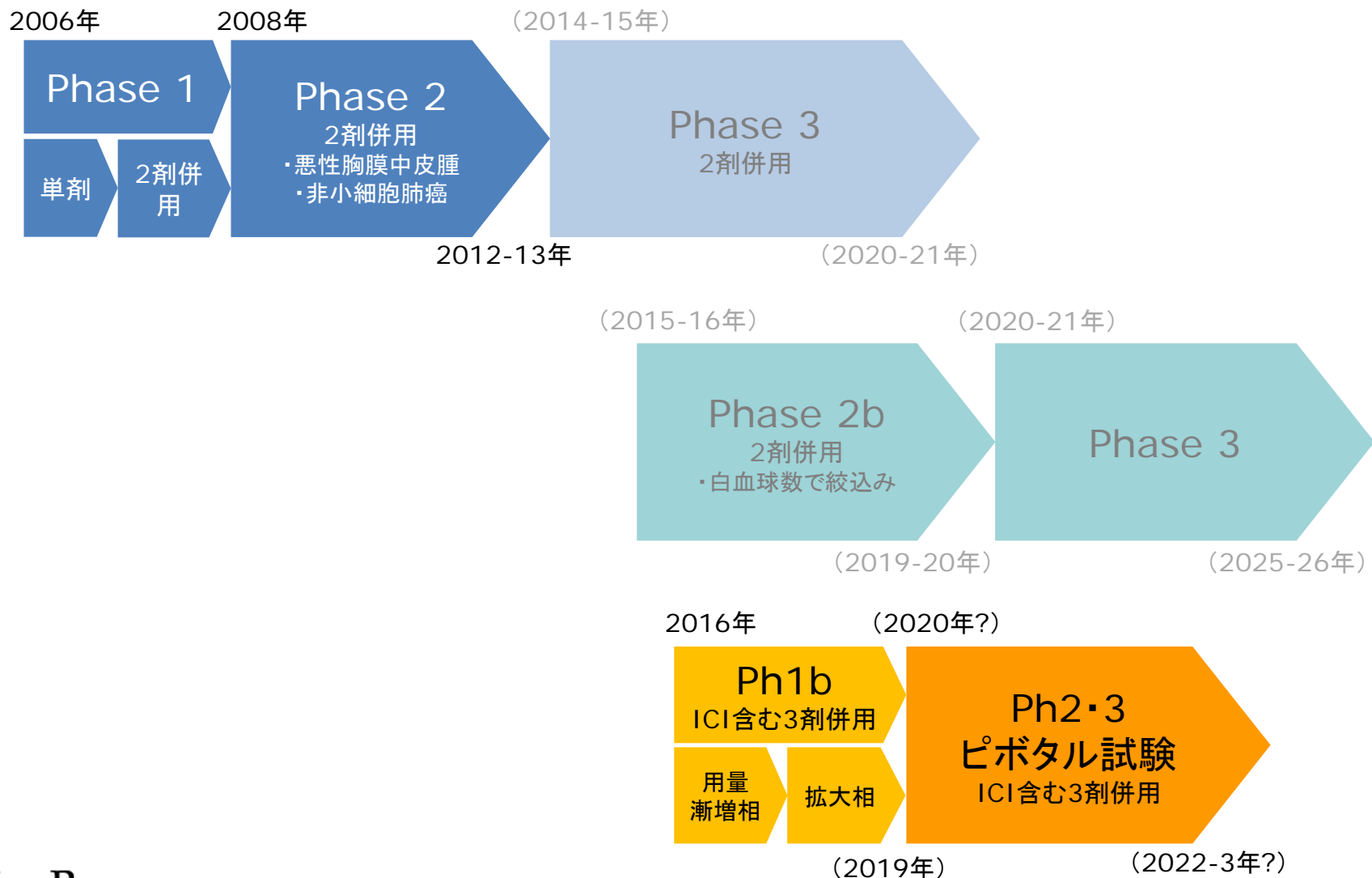
後続の次世代パイプライン

由来	特徴・標的	探索・創出	最適化	前臨床試験
自社創出	CBP-A TAT-S216~CBP501の系譜に属する発展型	CBP-A08		
	CBP-B CBP-Aシリーズとまったく別の発想から作製したペプチド型免疫系抗癌剤			
ファルマバレーとの共同研究	IDO/TDO阻害剤 静岡県立大との共同研究			
	(ターゲット非公表) ファルマバレーのライブラリから探索・最適化			

富士フイルム株式会社との共同研究

CBP501臨床試験

これまでの振り返り



類似の臨床試験(免疫チェックポイント阻害剤との併用試験)の動向

➤ 現在「Promising」と報じられている類似臨床試験

Newsfeed

Pembrolizumab Plus BL-8040 Shows Promise in Pancreatic Cancer

Let's Win! Pancreatic Cancer

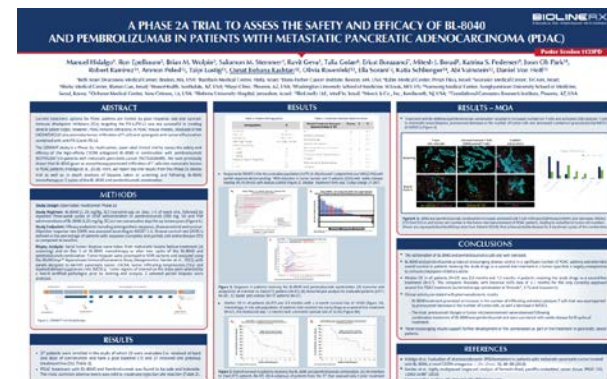
3 January, 2019



The CXCR4 antagonist BL-8040 in combination with the PD-1 inhibitor pembrolizumab (Keytruda) showed promising survival data in a phase IIa trial of patients with metastatic pancreatic adenocarcinoma (NCT02826486).

This study may serve as the gateway to immunotherapy for this population, according to lead investigator Manuel Hidalgo, MD, PhD. [Read more...](#)

【 <https://letswinpc.org/newsfeed/2019/01/03/> 】



➤ 開始当初の想定通り、優勝劣敗の結果が出始めている

✓ CBP501臨床試験の現場エピソード



■ 将来見通し等に関する注意事項

- 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■ お問い合わせ先： 株式会社キャンバス 管理部 IR担当
Email IR@canbas.co.jp